

一般社団法人埼玉県防犯設備協会

当協会では、5/28（水）に埼玉県警察と自治会と共同で川越地区の防犯巡回活動を行いました。侵入窃盗が増加しているため、空き家対策の初の試みとして草むしりや清掃を行い、管理者の方には空き家でできる防犯対策もご説明しました。

6/7（土）には鴻巣市内のホームセンターで県警・市役所と共同イベントを行いました。同市が個人向けの住

宅等防犯対策補助金を実施しているため、説明→購入（すぐ横に什器設置+店員+店内アナウンス）→補助金申請の説明が受けられるということで大変好評でした。また、同市からは今年度からスタートした地域防犯カメラ設置補助金制度（いわゆる自治会防犯カメラ）の相談先に指定して頂いております。



＜防犯活動の様子＞



＜空き家対策の様子＞



＜防犯相談＞

一般社団法人京都府防犯設備協会

当協会は設立23年目を迎え、京都府の安全・安心なまちづくりに積極的に貢献させていただいております。2024年度は防犯診断指導派遣や防犯モデルマンション認定制度の運営が堅調に推移し、定期点検も着実に遂行して地域の防犯力向上に努めております。

講演・広報啓蒙活動としては、防犯アドバイザー派遣事業として教職員や保育園関係者向けの防犯講話、京都府警察サイバー対策本部をお招きした技術研修会など、多角的な啓蒙活動を展開しております。

地元自治体・警察との連携としては、特殊詐欺の急増の手口に国際電話（固定・携帯）の利用が目立つため、京都府警察本部長と京都府知事が連名で国際電話の利用休止を大きく訴えられており、当協会も協力姿勢で推進してまいりたいと考えております。京都市の防犯カメラ設置補助事業でも多数の設置実現にお役立ていただき、犯罪抑止効果を上げております。

新規取組みとしては、既存分譲マンション向け認定制度の創設に加え、分譲マンション認定制度の定期点検の義務化、サイバーセキュリティ分野への取組み拡充、匿名流動型犯罪グループへの対策など、時代の変化に対応した活動を推進しております。

今回の警察庁「安全・安心まちづくり推進要綱」改正を受け、防犯設備士の専門性を活かし地域防犯力のさらなる向上に努めてまいります。



＜2025年度総会＞

NPO法人三重県防犯設備協会

NPO法人三重県防犯設備協会の最近の主な活動をご紹介します。

1. テナントビルの防犯診断を実施

三重県内の企業様から「テナントビルの防犯性能を評価して頂きたい」旨依頼があり、事業用賃貸物件の防犯診断を実施致しました。この企業様では、当該ビルが他のテナントビルと比較してどのレベルの防犯性能があるのか？また改善すべき点はあるのか？を把握したいとのこと。防犯診断の結果、本テナントビルは他の一般的なビルよりはるかに安全が確保されたビルと判定致しました。（五段階評価で最高評価）今回の防犯診断では平野富義理事に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2. 令和6年度「安全・安心まちづくり地域リーダーフォローアップ講座」での講演

三重県主催の「安全・安心まちづくり地域リーダーフォローアップ講座」にて年賀寄付金配分事業「不審者の犯罪被害から子供を守るための調査及び安全講習事業」についての講演を行いました。本事業は令和2年度より4年間に亘り、全国地域安全運動の一環として、津市内の小学校四校を対象に実施致しましたが、講演では実際に作製された冊子「通学路危険箇所マップ」をもとに、危険診断のポイント、保護者の方、地域の方への効果的な伝え方を中心に説明を行いました。



＜安全・安心まちづくり地域リーダーフォローアップ講座＞

3. 安全・安心フェスタまつさかで防犯展示・説明

『安全・安心フェスタまつさか』に於いて、ガラス割り実演、防犯相談、防犯設備の展示・説明のブースを設置し、防犯の重要性や、防犯設備のアピールを実施しました。今回もガラス割り実演が非常に人気となっており、多くの来場者で賑わいました。



＜安全・安心フェスタまつさか＞

和歌山県防犯設備協会

1. 防犯設備の強化

防犯カメラの設置や街灯の増設による犯罪抑止。

防犯カメラ・センサーライト設置による対策強化。

2. 情報共有と啓発活動

地域の防犯状況をSNS等を通じて地域住民に周知。

講習会、展示会に参加し防犯知識を普及させる。

3. 自治体・警察との連携

県警察本部等と連携し、地域住民の相談窓口とする。

4. 新しい取り組み

関西他府県防犯設備協会と連携し、防犯設備（士）の普及活動を行う。



＜協会案内＞

NPO法人兵庫県防犯設備協会

NPO法人兵庫県防犯設備協会はこの度NPO認証20年を迎えました。

1999年から各方面の求めにより兵庫県警察と連携の下防犯設備の普及を通じ兵庫県民の安全・安心に26年寄与して参りました。

中でも、全国に類を見ない県警察生活安全部長と当協会理事長連盟委嘱による、防犯設備アドバイザーの活躍は目覚ましく「兵庫県防犯優良マンション認定制度」「防犯設備優良住宅登録制度」審査を通じ広く兵庫県民の住宅安全環境の向上に貢献して参りました。

この度の認証20年式典に於いて警察表彰者を当協会から推薦した岡田政光氏・西村泰一氏・島田竜也氏の三名に感謝状を贈りました。又、松木武志氏・馬場弘幸氏の二名には兵庫県防犯協会連合会より同じく感謝状を贈りました。

しかしながら、未曾有のコロナ災害が及ぼした社会への影響は大きく、経済不況や生活環境変化は凄まじいものです。中でも働き方の改革により各事業所の労働時間は限られてまいりました。現在企業の会社貢献活動は、労働力・労働時間に影響しない形での貢献（寄付）へと変化しています。これからのボランティア活動は社員個々の意識に委ねる形になりつつあります。

民間資格の防犯設備士は企業へどのようにして利益をもたらすことができるのか。

日本防犯設備協会と地域協会が協力して防犯設備士・総合防犯設備士の新時代を早急に築く必要があるのではないのでしょうか。

そこで時代変化期を迎えるにあたり、兵庫県防犯設備協会は会員事業所の利益に繋がる事業「国の補助金2025先進的窓（高断熱）リノベ事業」を省エネから防犯・防災に切り口を変えアプローチする事業として展開すべく準備をしております。また、防犯設備士の資質向上とボランティア活動の活性化に切り口を分けた活動を行い、会員事業所のお役に立ち更に兵庫県民の安全・安心に貢献できる協会へと成長して参ります。

末文、兵庫県防犯設備協会にご指導ご鞭撻頂きました皆様方に感謝と御礼申し上げます。

また今後も当協会へのご協力を心よりお願い申し上げます。

兵庫県防犯設備協会 専務理事 島田 清



<会長挨拶>



<警察表彰>



<兵庫県防犯協会連合会表彰>

NPO法人福岡県防犯設備士協会

◆トピックス1 近年、セキュリティ・マンション・アパートへの関心が高まっています

令和6年中における福岡県の性犯罪被害については、約3割が住宅で発生しているほか、その大部分を10代～20代の女性が占めています。

性犯罪に遭わないためには住宅の防犯性を高める必要があります。

そこで一定の防犯基準をクリアした「セキュリティ・マンション・アパート」が注目されています。

本年5月26日にFBSテレビの福岡県広報番組【優&舞のもっと!知ったク!ふくおか】で春日市にある認定物件「COZY.K」が紹介されました。

同番組については、YouTubeでも視聴することができます。

セキュリティ・マンション・アパート認定制度は、福岡県警察の後援を頂き全国で初めてスタートし、佐賀県警、福岡県、福岡市、北九州市の後援もいただいております。

認定第1号は、平成24年2月に建築された福岡市東区のアパート『オマージュイースト』でした。

これまでの認定実績は、令和7年3月31日現在328棟(2241戸)で、認定物件での犯罪被害の報告はありません。

最近、各人の防犯意識が高まっており、セキュリティ・マンション・アパート認定物件が増えることが期待されます。

<優&舞のもっと!知ったク!ふくおか>

YouTubeは右のQRコード、又は
<https://www.youtube.com/watch?v=NmuW919RBMs>
からご覧いただけます。



◆トピックス2 ドイツ警察の方が当協会認定のセキュリティ・ホーム、セキュリティ・アパートを見学

4月10日ドイツ連邦共和国バイエルン州立刑事局所属のエリック様が当協会認定のセキュリティ・ホームが密集した大型戸建団地「コットンヒルズ松原公園通り」、セキュリティ・アパート「COZY.K」を見学され、認定条件に従い説明しました。

共用部分の見通しの確保、各所の照度の確保や専用部分の防犯性能の高い建物部品(CP部品)や玄関扉等の鍵などの高度な防犯性をご理解いただいたと思います。

エリック様の今後のご活躍を祈念します。

鹿児島県防犯設備協会

当協会では、会員の数名が、鹿児島県警察から防犯アドバイザーとして委嘱を受け、県警察学校での講和やコンビニ強盗訓練などを例年実施しております。

また、会員増強の為に県警察の入札案件の条件に防犯設備士の資格を入れていただくように働きかけを行っております。まだ実績はございませんが、引き続き県警と連携をとって2025年度中には実績を残せるよう活動しております。

今後とも、鹿児島の防犯設備(士)の普及活動に努めてまいります。